

平成26年4月1日

平成25年度を顧みて

- 近年の静商同窓会関東支部の活動状況を振り返ってみますと、静商大好きと云う多くの諸先輩に支えられて、着実に拡充・発展を遂げてきております(詳細は、関東支部ホームページの平成26年1月1日付の支部長からの「新年のご挨拶」の中での「静商同窓会関東支部における総会・懇親会の出席者数調べ」をご参照)。
- 最も、総会・懇親会における年次別出席者状況を子細にみますと、昭和50年3月の卒業生から最近の平成25年3月卒業生における総会への出席者が極端に減少、中には、出席者皆無の卒業年次も見られます(詳細は、同上の「総会・懇親会の年次別出席者数調べ」をご参照)。
- こうした状況下、関東支部では、平成25年度中、以下のとおり、組織強化と活動の活性化に積極的に取り組んでまいりました。

1. 組織強化と活動の活性化関係

(1) 組織強化

- 平成25年度の7月の定例総会での役員改選に関連して、専門部会(広報・企画・組織・応援各部会)の組織を大幅に強化。
- 具体的には、従来必ずしも専門部会に所属されていなかった常任幹事について、全て専門部会に所属する人事を発令し、支部活動の協力体制の強化を図った。

(2) 活動の活性化

- 一人でも多くの新会員に参加して頂くため、総会・懇親会および同好会の活動において、魅力ある施策・行事作りなどに努力。
また、資金面の強化としては、平成25年4月以降、同好会(グルメ・ゴルフ・歩く会・テニス)および応援部会に対して、「活動活性化支援金」を支給することとした。

イ. 総会・懇親会

(イ) 懇親会イベントのシンプルな企画・立案

- 総会運営幹事および企画部会では、会員皆様方に喜んで頂けるシンプルな企画・立案を心掛けた。特に、「同期が集まり、ゆったりと話ができるゆとりある時間の確保」と「応援団・音楽部OBを含めた会員全員が輪になって楽しく合唱できる雰囲気作り」などに注力。

(ロ) 同期会を開催して総会に参加しようキャンペーンの実施

- 昭和50年代以降および平成年度卒の同窓生の間では、総会に参加して

いないが、同期会を開催して懇親を深めているとの情報が有りますので、組織部会が窓口となって、平成25年度以降、当分の間、同期会開催の際に「新たな会員開拓のための補助金を出して開催の支援を行う」とこととしました(こうした支援が総会出席に繋がることを期待)。

- 具体的な活動内容としては、「初めて同期会を開催する年次の初回に限り、1人当たり千円の補助金を支給する」とこととしましたほか、この補助金を支給された年次の方には、同期会の開催模様を会報に投稿することをお願いすることとしました。
- このキャンペーンにおける補助金請求等の照会窓口については、平成25年5月28日発行の第22号の会報に掲載しております。

(ハ) 活躍している平成年度卒業生を総会・懇親会に招聘

- 平成24年11月に神戸で開催された「全国わさび生産者協議会・第27回全国わさび品評会」の根茎の部で、「農林大臣賞」を受賞した平成16年3月卒の「望月佑真」さんを平成25年7月の総会・懇親会に招聘して、「日本一の茎わさびの展示即売会」を実施。持参した茎わさび等の商品は完売。
- 望月さんは、静商卒業後、就農、両親やわさび生産の仲間からの指導を受けて4年目で見事、「農林大臣賞」を獲得しております。

(ニ) 総会運営役員による「昭和50年代以降の卒業生に対する総会・懇親会への参加を広く呼び掛ける運動」を推進

- 現在の総会・懇親会は、第二回目の総会・懇親会から導入された10年刻みの三年次の方々による「総会運営役員システム」により運営されております。
- 昭和50年代の卒業生に総会運営役員を担当して頂く機会に、少なくともその担当同期生の会員に幅広く呼び起こしを掛けて頂くことをお願いしております。これが毎年継続していくことによって、徐々に浸透していくことを期待しております。

ロ. 同好会

- 平成25年度・静商同窓会関東支部総会出欠通知はがきにアンケート調査(興味のある催物に○印ないし希望を記入)を行ったところ、総会 出欠通知はがき407通のうち、7割の289名の方から回答(うち、総会欠席者の回答者は81名)を頂きました。
- 各同好会の開催状況は、次のとおりであるが、アンケート調査項目に○印を記入して頂いた会員には、主催者側から催物の案内を差し上げることとしたこともあり、過去の催物の中では、今回、最高の会員が参加した事例も見られた。

(イ)グルメ同好会

- 9月7日(土)、グルメ同好会は、「そば打ち道場」を国分寺市北町の「ブルーベリーファーム榎戸」で開催。
- 昭和30年卒の蕎麦ソムリエの古井陸志氏をお招きし、過去最高の20名が「挽きたて」、「打ちたて」、「茹でたて」の「三たてそば」で、味と香りを楽しんだ。

(ロ)ゴルフ同好会

- 10月6日(日)、ゴルフ同好会は、ゴルフコンペを千葉県房総カントリークラブで開催。
- 今回が記念すべき第50回の記念大会とあって、前日の5日(土)は、同クラブのロッジに泊まり、大いに飲み・大いに食べるなど前夜祭を楽しんだ。また、翌日はやや曇り日であったが、過去最高の35名(9組)が参加して、終日、伸び伸びとプレーを楽しんだ。

(ハ)歩く会同好会

- 11月23日(土)、SC「歩く会」が秋の例会「真鶴半島ウオーキング大会(JR真鶴駅～真鶴港～貴船神社～御林遊歩道～三ツ石海岸～ケーブ真鶴～森林浴歩道～真鶴駅)」を開催。
- 静岡から参加された会員を含め12名が、好天の恵まれ、気温も心地よく、潮風と太陽をいっぱい浴びて、約7キロを完歩した。

(ニ)テニス同好会

- 10月23日(水)、テニス同好会が第二回目の練習会を日比谷公園テニスコートで開催。前日までの悪天候で雨のため中止かと思っていたが、メンバーの日頃の行いの良さが功を奏し、薄日の射す曇天の中、7名が4ゲームマッチのダブルス戦を楽しんだ。
- 11月29日(金)、テニス同好会が第三回目の練習会を芝公園テニスコートで開催。晴天に恵まれ、気温もあまり低くなく、絶好のテニス日和となり、5名が2時間のプレーを楽しんだ。
- 年明け後の2月28日(金)、第四回目の練習会を日比谷公園テニスコートで開催。太陽がまぶしいほどの好天に恵まれ、5名が4ゲームマッチのダブルス戦で心地良い汗を流した。

(ホ)カラオケ同好会

- 11月30日(土)、カラオケ同好会は、「年末カラオケ大会」を千代田区内幸町のシーボニアメンズクラブで開催。
- バイキング料理に舌鼓を打った後、昭和51年卒の歌手・川守宏氏を審査委員長に招き、過去最高の31名が参加し、SCに因んだチーム名をつけた6チームの団体戦で美声を競った。中には、審査委

員長から歌手顔負けの満点を貰った会員もいた。

2. 専門部会関係

(1) 企画部会

- 総会運営幹事と協力して魅力ある総会・懇親会の企画・立案に取り組んだほか、活動活性化支援金制度を導入して同好会の円滑な活動を支援。
なお、興味のある催物に○印を記入した「日銀貨幣博物館(44名)」の見学会については、平成26年6月頃、また、「ビール工場(38名)」は、平成26年9～10月頃に開催の予定。

(2) 広報部会

- 総会・懇親会の風景、同期会・同好会の開催模様、卒業年次の投稿記事掲載など会報の充実に取り組んだ。

(3) 応援部会

- 硬式野球部の関東遠征時の支援・応援、軟式野球部の全国大会・国体出場時の支援・応援等に前向きに活動した。

(4) 組織部会

- 会員名簿の充実、料金受取人払郵便物の取扱強化、関東地区に進学・就職する新卒業生の会員獲得に努力。

3. 最後に

- 平成26年4月以降も、前述の各種の施策などを継続していくことにより、平成26年7月12日(土)に開催される総会・懇親会には、一人でも多くの会員に声を掛け合って、ともに声高らかに「波メロディ」を歌おうではありませんか。

以上